



かんきょうしょうやくしましぜんほごかんじむしょ やくしませかいいさん
発行：環境省屋久島自然保護官事務所（屋久島世界遺産センター内）
〒891-3411屋久島町安房2739-343 TEL:46-2992 FAX:46-2977



WARM BIZ

屋久島国立公園
Facebook



屋久島世界遺産センター休館のお知らせ

改修工事のため2021年2月は閉館します。ご不便をおかけしますが、ご理解ご協力をお願いします。

西部地域には、どんな動物が住んでいる？ ～自動撮影カメラによる調査から～

世界自然遺産に登録されている屋久島の西部地域は、ヤクシマザルやヤクシカを身近に観察できるフィールドである一方、ヤクシカの採食圧による森林への影響が顕著な地域です。屋久島自然保護官事務所では、西部地域に生息するヤクシカの管理を目的に、自動撮影カメラによる調査を2019年から行っています。西部地域全体に35台の自動撮影カメラを設置し、ヤクシカの分布や個体群管理による影響を継続的に調べています。また、自動撮影カメラはヤクシカ以外の動物も撮影されているため、ヤクシカ管理だけではなく、西部地域の動物たちの様子を知ることにも活用できます。

今回、西部地域にどのような動物が生息しているのか、2019年12月から2020年3月までの撮影データを整理しました（下部写真）。ほ乳類は、ネズミ（アカネズミやヒメネズミ等）・ヤクシマザル・ヤクシカ・ニホンイタチ（コイタチ）・コウモリ（種不明）・タヌキ等が確認されました。中には真夜中にぞろぞろと移動するサルの群れの画像もあり、西部地域の動物たちの生活の様子も垣間見ることができました。



ネズミの仲間



ヤクシマザルとヤクシカ



ニホンイタチ（コイタチ）



コウモリの仲間



タヌキ



夜中に移動するサルの群れ

WOODAY（2/21イベント開催予定）

屋久島の木に関するイベントを、屋久島環境文化研修センター×屋久島世界遺産センター×屋久杉自然館合同で開催します！屋久島の木に関わる人たちで今年作られた木繋プロジェクトや熊毛流域森林・林業活性化センターとも協力し、木と触れ合う様々なブースを設置予定です。詳細については後日お知らせします。

日時：2月21日（日）10:00～15:00（予定）

場所：屋久島環境文化研修センター・屋久杉自然館



令和2年度第2回自然に親しむ集い
～世界遺産西部地域の森歩き～
を開催しました

11月1日（日）、西部地域で、集落跡地の散策やサル・シカの観察をおこないました。長年西部地域でヤクシマザルの研究を行っている、京都大学野生動物研究センターの杉浦先生と学生の皆さんの案内で、炭焼窯や畑の跡、マツヤニ採取跡などを観察し、自然の中でたくましく生活した当時の屋久島に思いをはせました。

道中では、同行していた学生さんが研究しているサルの群れにたまたま遭遇しました。その学生さんは、遠くからでも群れの全ての個体を識別できるため、年齢や群れのエピソードの生解説が聞けて、大変貴重な機会となりました。



マツヤニ採取跡を観察する様子。



サルの群れを観察しながら解説を聞く様子。



こちらのメスのおサルさん、絶世の美女だそうです。

令和2年度第3回自然に親しむ集い
～アサギマダラマーキング会～
を開催しました

11月15日（日）、原集落で、アサギマダラのマーキングを行いました。屋久島でアサギマダラのマーキングを行っている久保田先生を講師にお招きし、アサギマダラの不思議な生態やマーキング方法について解説頂き、実際にアサギマダラを捕まえてマーキングしました。アサギマダラは、春は日本を北上し、秋は南へと長距離を移動する不思議なチョウです。まだ謎の多い生態を解明するため、全国各地でマーキングを行い情報交換をしています。昨年度のマーキング会で参加者がマーキングしたチョウは、後日なんと台湾で発見されました！今回マーキングしたチョウもどこかで見つかると思います。

ちなみに、今回参加者が捕まえたチョウの中に、群馬県と高知県でマーキングされたチョウがいました！（再捕獲といえます）

チョウに書かれたマーク情報を全国のマーキングのネットワークに流すと、マークした人が「私のマークチョウです！」と、マークした場所や詳しい情報を流します。こうして、アサギマダラの移動情報を蓄積し、謎多き生態の解明につなげていくのです。

★再捕獲したアサギマダラの移動情報★

2020年9月27日 群馬県吾妻郡東吾妻町三島フジバカマ訪花

↓48日後

2020年11月15日 鹿児島県熊毛郡屋久島町原ヤマヒヨドリ訪花

移動距離：1034.2 km

2020年11月5日 高知県幡多郡大月町一切ツワブキ訪花

↓10日後

2020年11月15日 鹿児島県熊毛郡屋久島町原ヤマヒヨドリ訪花

移動距離：342 km



令和2年度の自然に親しむ集いは終了しました。たくさんのご参加ありがとうございました！